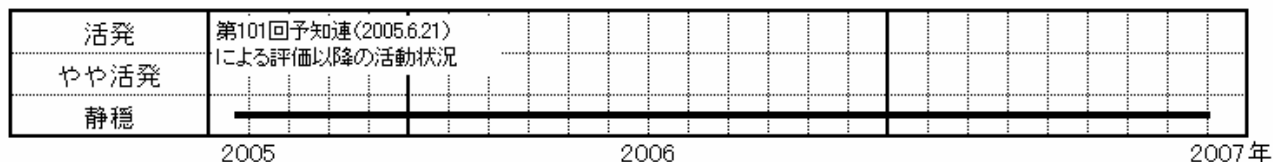


北海道駒ヶ岳

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張は引き続き観測されています。



○ 概況

・噴煙活動（図 2）

2003 年 9 月以降見られている昭和 4 年火口からの弱い噴気が時々観測されました。噴煙の状況に特に変化はありませんでした。

・地震活動（図2、図3、表1）

地震活動は低調に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動 (図 4、図 5)

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。

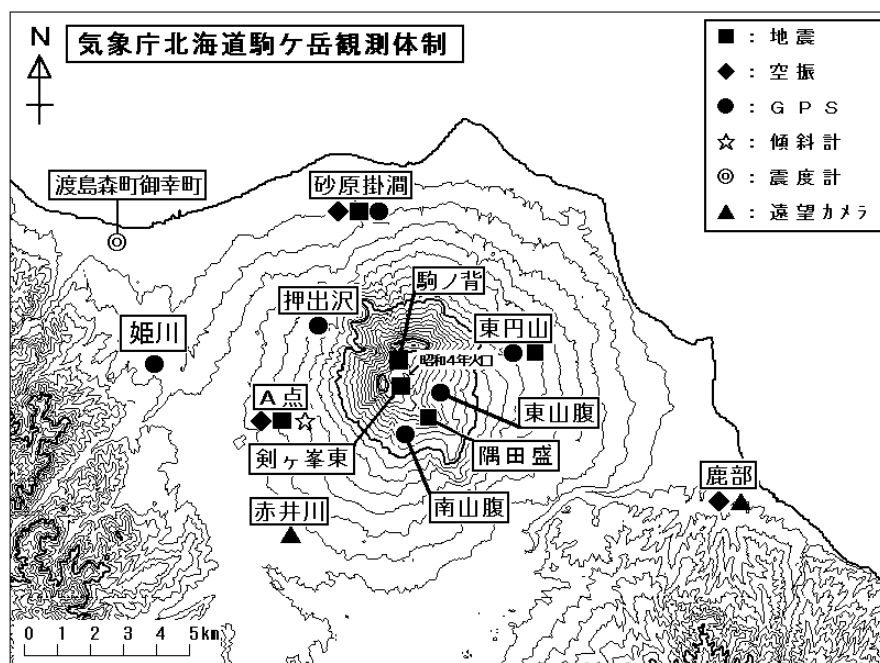


図1 北海道駒ヶ岳 火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

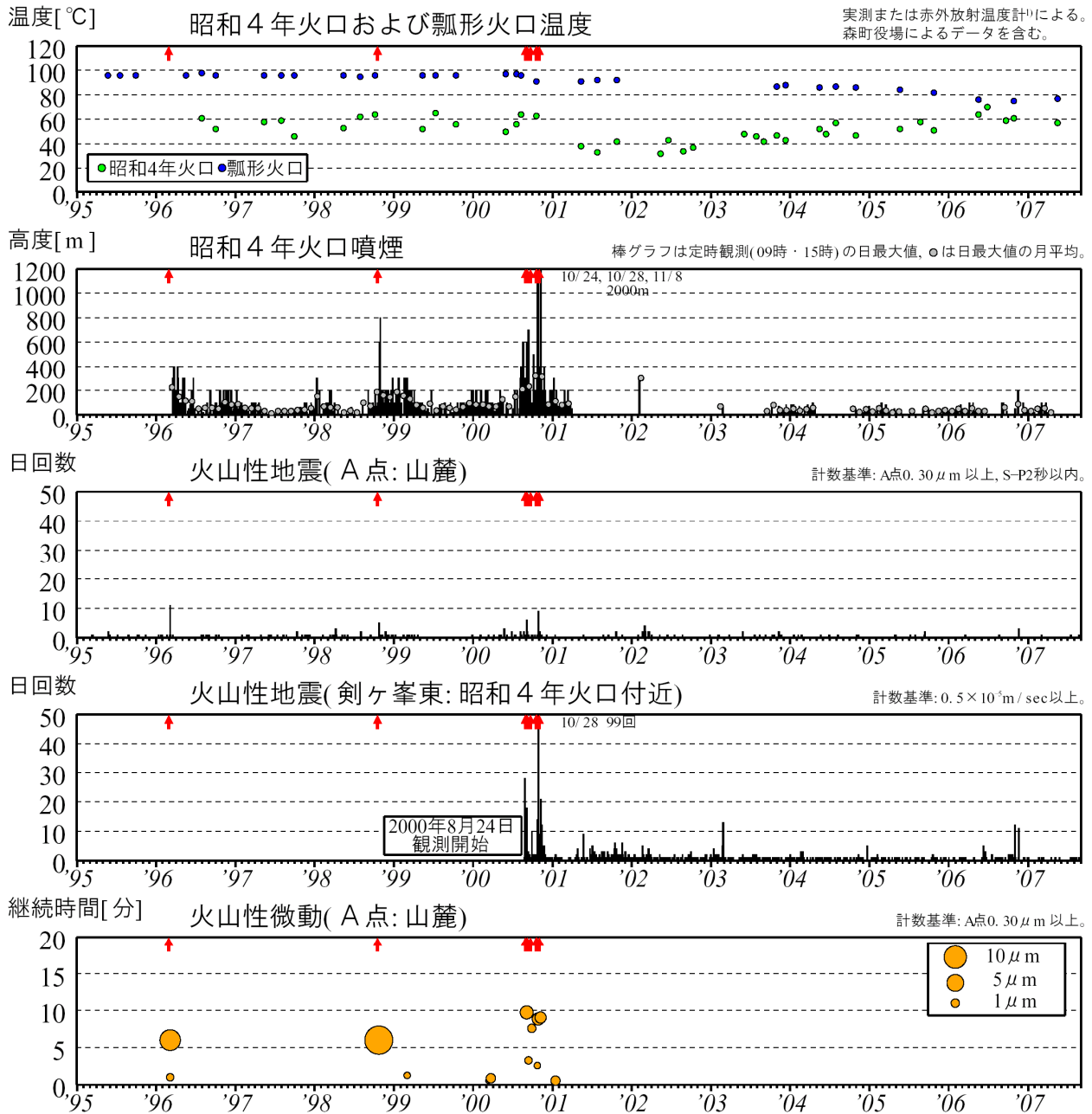


図 2※ 北海道駒ヶ岳 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 8 月）↑印は噴火

- ・昭和4年火口では2003年9月以降10～50m程度の噴煙が時々観測されています。
- ・昭和4年火口の火口温度は、2002年以降緩やかな上昇傾向が認められていましたが、2006年秋頃からはほぼ横ばいの状況が続いています。

1) 赤外放射温度計は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表 1 北海道駒ヶ岳 地震・微動の月回数（A 点：図 3 の KOMA、剣ヶ峯東：KGMH）

2006～2007 年	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
A 点地震回数	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1
剣ヶ峯東地震回数	2	11	25	3	2	1	4	1	2	0	3	4
A 点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

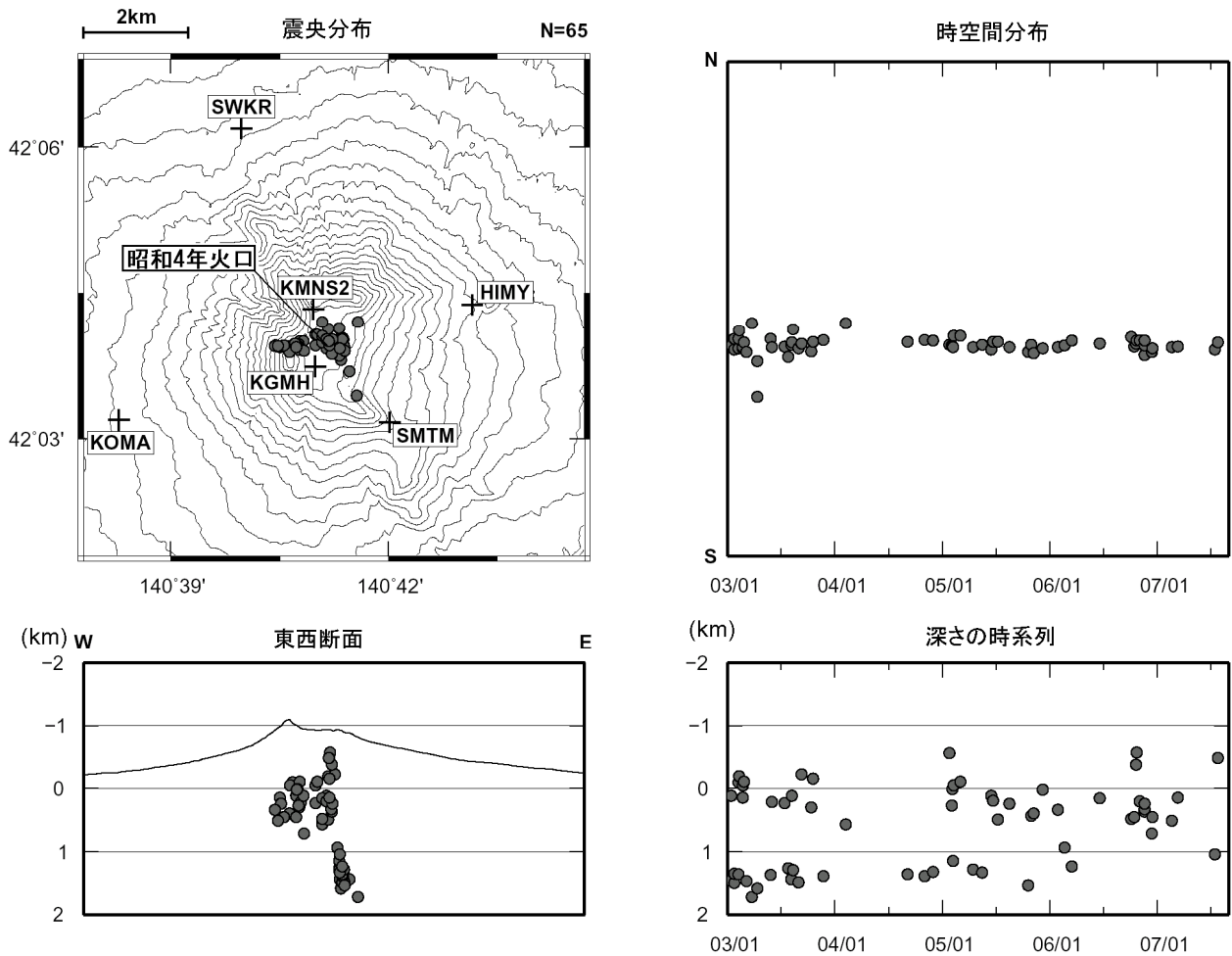


図 3 北海道駒ヶ岳の震源分布図（2003 年 1 月～2007 年 8 月、+は地震観測点）

- 印は 2003 年 1 月～2007 年 7 月の震源
- ・ これまでに求まった震源は山頂火口原直下の浅い所（山頂から深さ約 1～3km 付近）に分布しています。今期間に求まった震源はありませんでした。

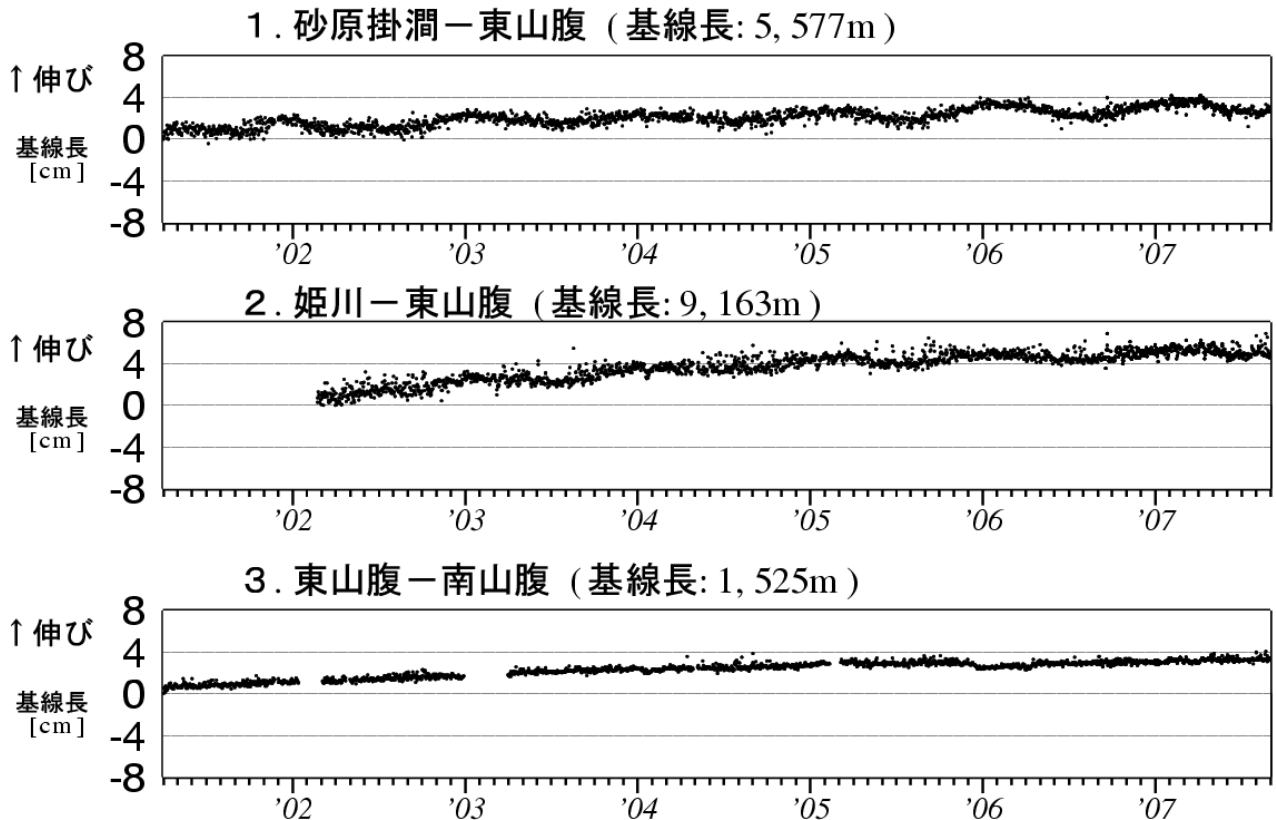


図 4 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 4 月～2007 年 8 月）

グラフの空白部分は欠測

- ・ GPS 連続観測では季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。
- ・ 図 4 の 1～3 は、図 5 の GPS 基線①～③に対応しています。

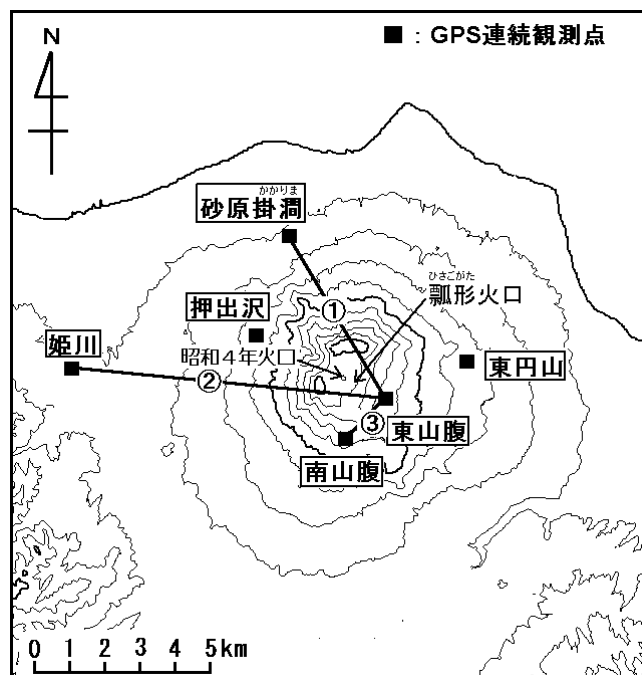


図 5 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測点配置図